

問題 1	一般知識	マスメディアの影響	重要度 A
------	------	-----------	-------

問題 1 マスメディアの影響に関する次の記述のうち、妥当でないものはどれか。

- 1 20 世紀に入って、マスメディアが普及すると、その報道内容が、即効薬を注射したり、服用したりした時のように、世論に直接的な影響を与えるという理論が生まれたが、これはマスメディアの「強力効果論」と呼ばれる。
- 2 マスメディアは、政治的・経済的・社会的に公共性を持つ問題を報道する際に、それらを報道する量や頻度、紙面上の位置や活字の大きさ、放送の順番を決めることによって、どの問題がどの程度重要かを、暗黙のうちに読者・視聴者に伝えているが、これはマスメディアの「議題設定機能」と呼ばれる。
- 3 同じ事実を伝えても、情報の送り手であるマスメディアが報道内容をどのようなフレーム（枠組み）で報道するかによって、情報の受け手の意見や態度が影響を受けると考えられるが、これは「フレーミング効果」と呼ばれる。
- 4 マスメディアがある問題を報道し、さらにそれに関する社会の人々の意見分布を紹介すると、自分の意見が少数派だと感じた人は沈黙し、その結果、ますます多数派の意見が強く報道されるようになるが、このメカニズムは「沈黙の螺旋」と呼ばれる。
- 5 選挙の前に、マスメディアによって、一方の候補者や政党が有利だと報道されると、有権者が雪崩を打ったように、勝つだろうと報道された候補者に投票して、結果として大差をつけて当選することがあるが、これは「判官びいき効果」と呼ばれる。

※ 問題の重要度のランク付けについて

A ランク…合格するためには必ず得点すべき問題。誤答の際は完璧に復習すべき問題。

B ランク…正解することが望ましい問題（Bのうち半分は正解しないと合格できない問題）。

C ランク…やや踏み込んだ知識で、難易度が高く、正解できなくても復習しておけばよい問題。

問題 1	一般知識	マスメディアの影響	正解 5
			関連過去問：なし

1 妥当である。

20 世紀に入って、マスメディアが普及すると、その報道内容が、即効薬を注射したり、服用したりした時のように、世論に直接的な影響を与えるという理論が生まれたが、これはマスメディアの「強力効果論」と呼ばれる。

2 妥当である。

マスメディアは、政治的・経済的・社会的に公共性を持つ問題を報道する際に、それらを報道する量や頻度、紙面上の位置や活字の大きさ、放送の順番を決めることによって、どの問題がどの程度重要かを、暗黙のうちに読者・視聴者に伝えているが、これはマスメディアの「議題設定機能」と呼ばれる。

3 妥当である。

同じ事実を伝えても、情報の送り手であるマスメディアが報道内容をどのようなフレーム（枠組み）で報道するかによって、情報の受け手の意見や態度が影響を受けると考えられるが、これは「フレーミング効果」と呼ばれる。

4 妥当である。

マスメディアがある問題を報道し、さらにそれに関する社会の人々の意見分布を紹介すると、自分の意見が少数派だと感じた人は沈黙し、その結果、ますます多数派の意見が強く報道されるようになるが、このメカニズムは「沈黙の螺旋」と呼ばれる。

5 妥当でない。

選挙の前に、マスメディアによって、一方の候補者や政党が有利だと報道されると、有権者が雪崩を打ったように、勝つだろうと報道された候補者に投票して、結果として大差をつけて当選することがあるが、これは「バンドワゴン効果」と呼ばれる。「判官びいき効果」とは、これとは逆に、マスメディアによって一方の候補者や政党が有利だと報道されると、実際の選挙ではその候補者や政党の票が伸びず、不利だと報道された候補者や政党が票を伸ばすことをいう。なお、選挙の前にマスメディアが各候補者や政党が選挙戦で有利か不利かという予測報道を行うと、そのメディアの予測が有権者の投票行動に影響を与えることを、「アナウンスメント効果」と呼ぶが、バンドワゴン効果と判官びいき効果は、アナウンスメント効果の具体例である。

問題 2	一般知識	情報セキュリティ	重要度 A
------	------	----------	-------

問題 2 情報セキュリティに関する次のア～オの記述のうち、妥当でないものの組合せはどれか。

ア 脆弱性とは、コンピュータやネットワークにおいて、情報セキュリティ上の問題となる可能性のある弱点のことである。多くの場合、OSやソフトウェアのセキュリティホールが脆弱性となる。

イ 公開鍵暗号方式とは、暗号化と復号で異なる鍵を使用する方式である。多くの人と暗号化して情報のやり取りをするときに有効で、電子署名では、一般的に公開鍵暗号方式が用いられている。

ウ ソーシャルエンジニアリングとは、ネットワークに侵入するために必要となるパスワードなどの重要な情報を、情報通信技術を使用して盗み出す方法である。その多くは、人間の心理的な隙や行動のミスに付け込むものである。

エ 標的型攻撃とは、対象の組織から重要な情報を盗むことを目的にして、不特定多数に送られる通常の迷惑メールを対象の組織に送る攻撃である。このメールの添付ファイルを開封すると、情報を盗み出すウイルスに感染することがある。

オ バイオメトリクス認証とは、一人ひとりが異なる人間の身体的特徴を利用する認証技術であり、これを用いた認証方法は、一般的に情報セキュリティが強化される。また、キーボードよりも速やかな認証を行いたい場面でも用いられる。

- 1 ア・イ
- 2 イ・ウ
- 3 イ・オ
- 4 ウ・エ
- 5 エ・オ

※ 問題の重要度のランク付けについて

A ランク…合格するためには必ず得点すべき問題。誤答の際は完璧に復習すべき問題。

B ランク…正解することが望ましい問題（Bのうち半分は正解しないと合格できない問題）。

C ランク…やや踏み込んだ知識で、難易度が高く、正解できなくても復習しておけばよい問題。

問題 2	一般知識	情報セキュリティ	正解 4
			関連過去問：28-56

ア妥当である。

脆弱性とは、コンピュータやネットワークにおいて、情報セキュリティ上の問題となる可能性のある弱点のことである。多くの場合、OS（オペレーティング・システム）やソフトウェアのセキュリティホール（情報セキュリティ上の不具合）が脆弱性となる。また、設定ミスや管理体制の不備なども脆弱性の1つになることがある。これらの脆弱性が具体的な脅威と結び付くと、情報セキュリティのインシデント（事件・事故）が発生する。

イ妥当である。

公開鍵暗号方式とは、暗号化と復号（暗号化されたデータを元に戻して、人やコンピュータが識別できる情報にすること）で異なる鍵を使用する方式である。一方の鍵を公開鍵、もう一方を秘密鍵とすることで、途中で覗き見されることなくデータを送信したり、改ざんを検知したりすることができる。多くの人と暗号化して情報のやり取りをするときに有効であり、電子署名では、一般的に公開鍵暗号方式が用いられている。なお、公開鍵暗号方式とは異なり、暗号化と復号で同じ鍵を使用する方式を共通鍵暗号方式といい、大きなサイズのデータの暗号化や、限られた特定の相手とのやり取りに使われる。

ウ妥当でない。

ソーシャルエンジニアリングとは、ネットワークに侵入するために必要となるパスワードなどの重要な情報を、情報通信技術を使用せずに盗み出す方法である。その多くは、人間の心理的な隙や行動のミスに付け込むものである。ソーシャルエンジニアリングの具体例としては、利用者や管理者のふりをして、電話でパスワードを聞き出す、肩越しにキー入力を見る（ショルダハッキング）、ごみ箱をあさる（トラッシング）などがある。

エ妥当でない。

標的型攻撃とは、対象の組織から重要な情報を盗むことを目的にして、不特定多数に送られる通常の迷惑メールとは異なり、組織の担当者が業務に関係するメールだと信じて開封してしまうように巧妙に作り込まれたウイルス付きのメールを送る攻撃である。企業や組織のたった一人が標的型攻撃メールの添付ファイルを開封したり、リンクをクリックしたりしただけでも、情報を盗み出すウイルスに感染し、機密情報が漏洩する事態に陥ることがある。

オ妥当である。

バイオメトリクス認証（生体認証）とは、指紋、声紋、虹彩（眼球の模様）、静脈（静脈の血管形状パターン）のように、一人ひとりが異なる人間の身体的特徴を利用する認証技術であり、これを用いた認証方法は、ユーザ名とパスワードによる認証や、ICカードなどの持ち物による認証に比べて、一般的に情報セキュリティが強化される。また、この認証方式では、キーボードによる入力が不要になるため、ドアなどのキーボードを持たない環境や、携帯電話のように、キーボードよりも速やかな認証を行いたい場面でも用いられる。

以上により、妥当でない記述はウとエであり、したがって、正解は肢4となる。